

令和7年度アートな鳥取創出事業  
朝鑑賞シンポジウム「朝鑑賞で安心・安全な学校づくりⅡ－実践編」  
開催要項

1. 趣旨：令和7年3月30日に開館した鳥取県立美術館では、子どもたちをはじめとするすべての人たちの「アートを通じた学び」を支援する研究室「アート・ラーニング・ラボ（A.L.L.）」を設置し、多様なプログラムを提案している。学校の先生がファシリテーターとなり対話鑑賞を行う「朝鑑賞」もその一つである。今回のシンポジウムでは、全国各地の小中学校や行政機関等からの実践発表と、4人のファシリテーターの個性が光る「ファシリテーションバイキング」、及びパネルディスカッションをとおして、「朝鑑賞」が学校に何をもたらし、生徒や教師にどのような変化を生むのかについて、理論と実践の両面から迫る。
2. 概要：午前・午後の2部構成とし、午前の部は、国内各地の小中学校・行政機関等からの実践報告、午後の部は、武蔵野美術大学教授 三澤一実氏のコーディネートによるパネルディスカッションとする。
3. 主催：鳥取県
4. 共催：鳥取県教育委員会
5. 講師：武蔵野美術大学 教授 三澤一実 氏（コーディネーター及びファシリテーター）
6. 実践発表：①鹿児島県宇検村立田検小学校 校長 鐘謙治 氏②東京都杉並区立東原中学校 校長 鳥居夕子 氏  
③茨木県取手市立取手西小学校 教諭 江崎知菜 氏④鳥取県倉吉市立鴨川中学校 教諭 山本祐久 氏  
⑤大阪市総合教育センター 指導主事 東影美香 氏⑥長野県東御市企画振興部文化・スポーツ振興課  
課長 高橋則幸 氏⑦武蔵野美術大学 教授 三代 純平 氏
7. パネリスト：多摩美術大学 名誉教授・日本美術家連盟 理事 海老塚耕一 氏  
埼玉県所沢市立小手指中学校 教諭 沼田芳行 氏（パネリスト及びファシリテーター）  
公益財団法人 福武財団 トップエデュケーター 藤原綾乃 氏  
鳥取県倉吉市立鴨川中学校 校長 小原弘行 氏
8. ファシリテーター：株式会社 直島文化村 間部俊一 氏  
長野県東御市地域おこし協力隊 山崎麻由 氏
9. 対象：アートを通じた学びに興味のある方、コミュニケーションに興味のある方、小中学校、高等学校、大学等学校教育関係者、市町村教育委員会関係者、対話鑑賞ファシリテーター登録者、学生等
10. 開催日時：令和8年1月11日（日）  
午前の部 実践発表：10時から12時  
午後の部 ファシリテーションバイキング・パネルディスカッション：13時20分から16時30分
11. 場所：鳥取県立美術館 ホール 他（鳥取県倉吉市駄経寺町2丁目3-12）
12. 定員：午前・午後ともに 定員50名
13. 申し込み：午前・午後ともに WEBフォームで要申込 ※申込締切：令和8年1月10日（土）17時  
(本会の記録動画は後日公開予定)
14. 参加費：無料
15. その他：閉会後に情報交換会を開催（18時から20時）
16. 問合せ先：鳥取県立美術館 TEL. 0858-24-5441 (学芸課直通)
17. 担当者：鳥取県立美術館 学芸課 教育普及担当 専門員 佐藤真菜